



熊谷市立成田星宮小学校

爪川 由美子

一 学校の沿革

令和五年四月 開校

スクールバス運行開始

令和五年五月 成田星宮小学校開校式典

令和六・七年度

熊谷市教育委員会委嘱 学習指導研究学校

本校は熊谷市初の統合新設校(成田小と星宮小の統合)として開校した。校歌には、「学と徳とをいよ磨き 世に立つ力 その身につける」という歌詞がある。まさに、これから未来を力強く切り拓いていかなければならない子供たちに必要な力であり、本校では、「この「世に立つ力」を学校教育目標に掲げている。「令和の日本型学校教育」の具現化に向け、第

三学年以上の教科担任制、チーム担任制など指導体制の充実を図ると共に、「成田星宮小ESDから持続可能な未来を拓く」を合言葉に、総合的な学習の時間を中核とした学びの改革に取り組んでいる。

二 校章・校歌制定に係るエピソード

1 校章

① 令和五年 制定

② 中心線の入った三つの図形は学校、家庭、地域を、無地の図形は共に仲良く学ぶ成田と星宮の子供たちである。黒点が互いを結び付け、桜を想わせるデザインが、本校の子供たちの優しさと柔らかさを表現している。

2 校歌

① 令和五年 制定

② 成田五郎家時、奥原晴湖など郷土を誇る歌詞からはじまり、心豊かにたくましく学ぶ子供の姿、「知徳体を磨き世に立つ力を身に付けよ」という願いが込められた歌となっている。

